

受入れ対象団体

宮城 (3団体/募集人数:4名程度)

団体名	活動分野	所在地
● 認定特定非営利活動法人 Switch	若者・障がい者支援	仙台市宮城野区
● 認定特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク	子ども支援	仙台市青葉区
● 認定特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる	市民活動団体支援	仙台市宮城野区

書類送付先・お問い合わせ先

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド インターンシップ奨励プログラム事務局 (担当: 霜田、武藤)

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3日本橋MIビル1F / E-Mail: mshimoda@civillfund.org /

TEL: 03-5623-5055 (平日10時~17時)

福島 (4団体/募集人数:5名程度)

団体名	活動分野	所在地
● 特定非営利活動法人 いいざかサポーターズクラブ	町づくり・観光の推進	福島市
● 特定非営利活動法人 コーヒータイム	障がい者支援	二本松市
● 特定非営利活動法人 シャローム	福祉	福島市
● 認定特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター	市民活動団体支援	福島市

書類送付先・お問い合わせ先 (現地協力団体)

認定特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター インターンシップ奨励プログラム事務局 (担当: 内山、桜井)

〒960-8068 福島市太田町12-30 マルベリービル6階 / E-Mail: center@f-npo.jp / TEL: 024-572-7930 (平日10時~17時)

岩手 (4団体/募集人数:5名程度)

団体名	活動分野	所在地
● 特定非営利活動法人 いわて連携復興センター	市民活動団体支援	北上市
● 特定非営利活動法人 サンガ岩手	地域コミュニティ交流支援	盛岡市
● 特定非営利活動法人 盛岡YMCA	子ども支援	盛岡市
● 特定非営利活動法人 未来図書館	子ども支援	盛岡市

書類送付先・お問い合わせ先 (現地協力団体)

特定非営利活動法人 未来図書館 インターンシップ奨励プログラム事務局 (担当: 恒川、田上)

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階 / E-Mail: river115@miraitoshokan.com / TEL: 019-654-6601 (平日9時~17時)

※各県の受入れ団体の活動カリキュラムはWEBサイトでご確認ください。 <http://www.civillfund.org/youth-challenge.html>

東日本の再生過程に若者の参加を

Internship

住友商事 東日本再生 ユースチャレンジ・プログラム -インターンシップ奨励プログラム-

2016

宮城

福島

岩手

■ 応募書類受付期間: 2016年4月23日(土)~5月16日(月) [当日必着]

■ 主催: 住友商事株式会社

■ 企画・運営協力: 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド

住友商事株式会社は、東日本大震災の被災地の地域再生と被災者の生活再建を願い、その再生過程に参加するユースを応援します。このプログラムは、「活動・研究助成」と今回募集を開始する「インターンシップ奨励プログラム」の2つで構成されます。

「インターンシップ奨励プログラム」は、被災地で活動しているNPOを活動現場とし、長期にわたるユースのインターンシップ活動を応援するものです。2012年度より開始し、宮城県、福島県、岩手県の3県で展開しています。



詳しくはWebへ

ユースチャレンジ インターン で検索 または <http://www.civillfund.org/youth-challenge.html>

お問い合わせ先

宮城県: 特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド / TEL: 03-5623-5055

福島県: 認定特定非営利活動法人 ふくしまNPOネットワークセンター / TEL: 024-572-7930

岩手県: 特定非営利活動法人 未来図書館 / TEL: 019-654-6601

住友商事

市民社会創造ファンド

インターンの応募

- (1) 対象者
ユース世代(大学生/大学院生/専門学校生など)、主に10代後半～20代まで
- (2) インターン数
各県により異なります。(各受入れ団体に1～2名)
- (3) 応募期間
2016年4月23日(土)～5月16日(月) *当日必着

インターンシップの内容

- (1) インターンシップ期間・活動時間
2016年7月1日～2017年3月31日までの9ヶ月間で200時間～300時間程度
- (2) 活動カリキュラム
各受入れ団体の活動カリキュラムはWEBサイトでご覧いただけます。
<http://www.civildfund.org/youth-challenge.html>

インターンへの支援等

- 奨励金：活動1時間あたり800円(上限300時間)
- 交通費：インターンの通学先または自宅から、受入団体までの往復交通費(実費)(片道上限1,000円、定期券区間分除く)
- 研修：研修活動のための旅費や集会参加費など補助費(期間中上限2万円)
- 保険：傷害保険と損害賠償保険に加入

主なスケジュール

2016年	6月26日	事前研修/入校式(終日)*1
	7月	各受入れ団体に活動開始
	11月	中間報告会*2
2017年	3月	修了報告会*2
	4月	修了報告書提出

※事前研修/入校式、中間報告会、修了報告会には必ずご参加ください。
*1 事前研修/入校式は、福島市で3県合同で開催。
*2 中間報告会及び修了報告会の日程は、各県の応募要項でご確認ください。

事前研修および入校式

- 日時：2016年6月26日(日) 終日
 - 場所：福島市市民活動サポートセンター
福島市大町4-15 チェンパおおまち3階
- ※必ずご参加ください。(参加交通費は事務局より負担します)

応募・選考

- (1) 応募書類(応募用紙と小論文)
以下の書類を郵送にてお送りください。
・応募用紙(WEBサイトからダウンロード可)
・小論文(2,000字程度)
下記の①②どちらかのテーマをお選びください。
①「インターン活動でチャレンジしたいこと」
②「インターン活動を終えた9ヶ月後の私へ」
- (2) 面接(書類審査通過者のみ)
面接場所・面接日程は決まっていますので、下記WEBサイトで必ずご確認ください。
<http://www.civildfund.org/youth-challenge.html>

活動ダイアリー (Aさんの場合)

- 6月 事前研修&入校式で3県のインターンと初顔合わせ。同じ思いを持った仲間同士、すぐに打ち解けることができた。 **活動時間 21H**
- 7月 最初の活動日は緊張したけど、メンターがいるので安心だった。これからの9か月間に期待も膨らむ。 **活動時間 48H**
- 8月 夏休み期間なので活動に専念。まだ団体の活動内容を理解することに精一杯だけれども、もっと多くのことを学びたいという気持ちが強まった。 **活動時間 20H**
- 9月 前半は大学の合宿があったので、後半を中心に活動。緊張が緩んだのか、失敗をしてしまった。落ち込んだけれども仲間のインターンが支えてくれた。 **活動時間 30H**
- 10月 被災地支援に取り組んでいるNPOの役割について考える。学生の私たちに出来ることは何だろう。 **活動時間 38H**
- 11月 活動期間も折り返しとなり、少し気持ちが焦ってきた。中間報告会があり、仲間の報告に刺激を受ける。後半に向けての目標を見つけない。 **活動時間 37H**
- 12月 メンターとも相談し、自主企画を立案・実施することになった。プレッシャーはあるけれども最後までやり遂げたい。 **活動時間 18H**
- 1月 テスト勉強と並行しながらのインターン活動。無理のない範囲で活動時間を調整しながら乗りきった。 **活動時間 34H**
- 2月 自主企画の準備も大詰め。一つの企画を実施するのに、多くの連絡調整や協力が必要だと実感。 **活動時間 30H**
- 3月 自主企画も何とか成功。1つのことをやり遂げた達成感は何事にも変え難い経験となった。修了報告会に参加。あっという間の9か月間! たくさんの出会いと学びが私の財産となった。 **活動時間 30H**
- 4月 修了報告書を提出。インターン期間が終了しても団体の活動に参加していきたい。

合計 276H

2015年度インターン フォトアルバム



インターン修了生からのメッセージ

やらない理由を言うのは簡単です。やってみてから後悔してもいいと思います。日常を変えたい!東北に何か貢献してみたいという人はチャレンジしてみましょう!
(東北大学/井上尚人)

大人が実際に働く現場と一緒に活動することができます。この中で自分の未熟な部分と得意な部分を見つけ、残りの大学生活や卒業後に向けて、前向きに取り組むきっかけにしてください。
(岩手県立大学/杵淵陽海)

このインターンは、9ヶ月という長期間の活動なので、本当に自分がやりたいことにチャレンジできると思います。被災地訪問や他県の学生との交流を通して、様々な経験を積むことができました。
(福島大学/井上和哉)

本当に悩むことが多かったのですが、問題を一つずつ乗り越えていくにつれ、自分の精神面の成長と知識が増えていくことを実感することができました。
(東北福祉大学/猪狩奈月)

NPO法人は幅広い活動をしているため、インターン活動を通して多くの人達と出会い、そして経験を積むことができます。また、ほかのインターン生と情報を共有することも大きな魅力です。
(桜の聖母短期大学/吉田萌乃)

活動を通して自分が成長出来たことに気がきました。新しい自分を発見したい、貴重な経験を得たい人はぜひチャレンジしてください。
(東北大学/許喬菜)

活動を重ねる度に、知りたいこと、挑戦したいことが増える素敵な9ヶ月でした。新しい自分を発見したい方は是非チャレンジしてみてください。
(福島大学/越智さき)

今、ただ同じ毎日を繰り返すことに飽き飽きしている人で、「自分の知らない世界」と聞いて興味がある人はぜひやってみるべし!
(岩手大学/小笠原健太)

※所属はインターン応募時のものです。
※2015年度インターン生のメッセージはWEBでもご覧いただけます。